

第2回 全国ユース環境活動発表大会

環境活動発表会の参加校は全部で16校

それぞれの学校が優秀な環境活動を実践してきた事が認められ、日本全国から選ばれてきた代表校です。惜しくも特別な賞を逃した高校にも、生徒はもちろん、活動を支えてくれた先生やご家族にも敬意を表し「優秀賞」の賞状が贈呈されました。

兵庫県立播磨農業高等学校

播磨竹鶏物語

竹チップ大作戦!! ~救え、未来の畜産業~

全国で増加の一步をたどる放置竹林を整備することで、その竹を有効利用先として、家畜の飼料に着目。自給率の向上や飼料代の削減、さらには生産物の品質向上も見込めるのではないかと考え、地域の協力を得て研究おこなっている。



宮城県農業高等学校

科学部復興プロジェクトチーム

津波地域を甦らせる! ~目指すはバラと食物連鎖を利用した環境修復型農業~

東日本大震災1年後、「復興プロジェクトチーム」を立ち上げ、「桜保存プロジェクト」を開始。環境修復型農業の必要性から研究を進め、中国貴州省の野バラ「ツリー」を利用した取り組みに発展し、商品開発などもおこなっている。



山陽女子中学校・高等学校

地歴部

マイクロプラスチック: 見えない環境問題へのアプローチ

瀬戸内海で深刻な問題となっている海底ごみの問題を中心に、新たな問題としてマイクロプラスチックにも着目。海底ごみの回収方法を研究し、実際の回収活動や啓発活動、ごみの可視化など地域を超えた取り組みなどをおこなっている。



お茶の水女子大学附属高等学校

環境チーム

ファッションと環境問題 ~〈服〉で地球に幸〈福〉を~

関心を持ちやすく、楽しみながら問題解決に繋げていける身近な存在の服を取り上げ、「ファッションと環境問題」というテーマを設定。ここから「知る」、「広める」という二つの観点を築き上げ、「知る」について4つの活動をおこなった。



広島県立油木高等学校

ニカワプロジェクト

獣害から新たな資源へ、農村の6次産業の可能性

廃棄処分されているイノシシから、日本の伝統文化財補修に使われる膠を生産することを考案、効率的な生産方法を実験により確立し、膠の活用方法として墨を作ることに成功。情報発信としてその墨汁を活かしたイベントも行われた。



愛知県立時習館高等学校

SSH生物部環境班

三河湾の環境調査

東三河の高校生を対象に「東三河海洋環境探究講座」を毎年実施。その中で、三河湾の環境指標調査を平成20年度から継続して行い、干潟をはじめとする三河湾の環境の保全に役立てることを目的として地域に広報活動をおこなった。



徳島県立小松島西高等学校勝浦校&徳島県立新野高等学校

緑のリサイクル・ソーシャル・エコプロジェクトチーム

ゴミとして捨てるのもったいない!

~資源循環型肥料の開発から次の一手・次の一步に向けた環境創生への取り組み~
河川や道路・公園等の維持管理で発生する「刈草」を活用して出来た資源循環型肥料「もったいない2号」を開発。同時に新たな産官学民連携の資源循環や、脱炭素社会といった暮らしの在り方への情報発信、啓発活動をおこなっている。



岐阜県立恵那農業高等学校

環境科学科

空心菜栽培による地域貢献・支援活動

岐阜県恵那市の阿木川ダム湖に発生したアオコを防ぐため、環境負荷が少なく低コストの「浮島」で空心菜栽培を考案。ダム湖の水質浄化はもちろん、ミニ浮島や空心菜レシピなどの開発も行い、地域の協働活動のシンボルとなっている。



福岡県立水産高等学校

アクアライフ科

豊かな海づくり -Project -T-

漁場環境の悪化する玄界灘に対し、藻場を増やし漁場を豊かにするために近くの山の竹林を整備。伐採した竹は竹魚礁として海中に設置。また竹炭を利用した磯焼け対策として「鉄と竹炭のおにぎり」を作り、フルボ酸鉄を海に与えている。



神戸山手女子高等学校

カメラ部

イシガメ保全プロジェクト

ミシシippiaカミガメ駆除のために淡水ガメのデータを収集する活動から、地元関係施設のバックアップを受け、日本在来種であるニホンイシガメを1か所に集めて繁殖できるかどうかを、長期にわたって観察する活動をおこなっている。



沖縄県立中部農林高等学校

エコリサーチ部

美ら島を守る高校生の挑戦! ~伝統ある蘭草がつなぐ結び~

琉球畳の原材料である蘭(い)草の現状調査や、植え付けなどを行い、蘭草を使ったものづくりやマーケティング、知名度の向上などについて地元の企業や大学などと連携。伝統文化継承や蘭草農家が抱える課題について取り組んでいる。



<審査委員> (敬称略、委員は50音順)



審査委員長
小澤 紀美子
東京学芸大学名誉教授

<審査委員長 講評>

地域の課題に真摯に向き合い、自分たちだけでなく周りの多様な方々を巻き込んで進めている多様な活動が多かったですね。これからも活動を広げていってください。



委員
筒井 隆司

WWF(世界自然保護基金)ジャパン事務局長



委員
永見 靖

環境省総合環境政策局環境経済環境教育推進室長



委員
幡谷 剛

SGホールディングス株式会社総務部ゼネラルマネジャー



委員
福井 光彦

独立行政法人環境再生保全機構理事長



委員
渡邊 綱男

国連大学サステイナビリティ高等研究所シニアプログラムコーディネーター